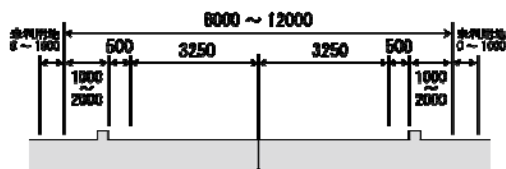


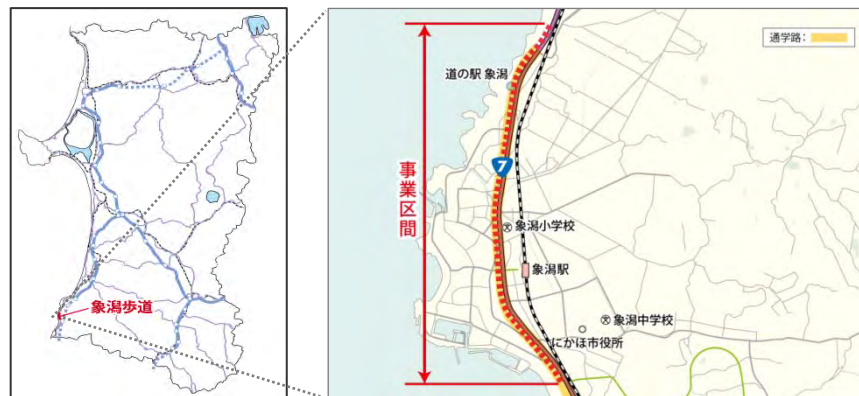
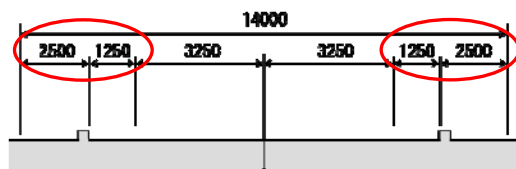
地域景観と調和した安全・快適な歩行空間を確保

- ・歩道の拡幅・バリアフリー化により、通学児童をはじめとする歩行者・自転車の安全性が向上。
- ・カラー舗装や植樹帯の設置により、地域の景観が向上。
- ・ドライバーからの歩道の認知性が向上し、自動車・歩行者相互の安全性が向上。

▼ 整備前の幅員



▼ 整備後の幅員



利用者の方々も安全性と景観の向上を実感！

【整備前後の状況】

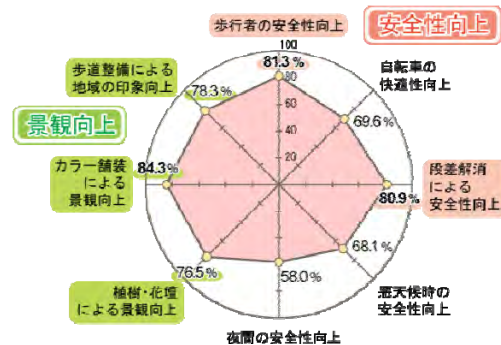


歩道拡幅による安全性確保



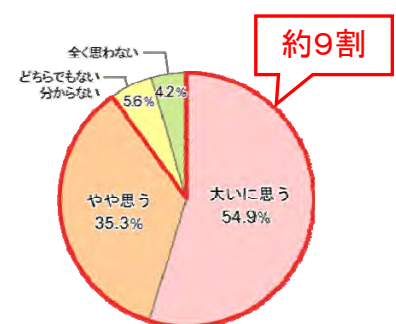
カラー舗装により歩道の認知性が向上

Q1. 歩道利用時の変化



Q2. 自動車運転時の変化

<カラー舗装になって歩道を認知しやすくなった>



注1) 歩道を日常的に利用している方(115人)の回答
注2) 「大いに思う」「やや思う」と回答した人の割合

注) 運転免許を持っている方(215人)の回答

利用者の声

- 整備前は子供の通学時に不安な所もありましたが、今では安心して学校へ送り出しています。(40代、女性)
- 車で毎日走っていますが、歩道を茶色にしたことで運転している側も自然と目が行き、歩く人に注意して今まで以上に安全に運転できています。(50代、男性)

出典：沿線住民アンケート